

来年東京で開催予定のオリンピック・パラリンピックに向けて、兵庫県では県内の17校を「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として指定しており、指定を受けた推進校では、年間のオリパラ教育を通じて、規範意識の涵養、スポーツの価値や共生社会への理解を深めるよう取り組んでいただいています。

今回は、7月に講師を招聘して講演会を実施した2校について紹介します！！

## ★県立村岡高等学校

7月15日(水)、世界身体障害者野球大会第1、2回日本代表 岡原年秀さんによる「自分の可能性を信じろ」と題して講演が行われ、義手のつけ方や事故による右手の切断時の心情、身体障害者野球との出会い、家族や仲間の支えなど、再起を遂げるまでの日々についてお話いただき、片腕でのキャッチボールやノックなどの実演もしていただきました。

岡原さんは、大切なのは「**自分の気持ちの持ち方**」「**相手を思いやる気持ち**」「**諦めないこと**」とし、「**諦めない限り、自分次第で人生はいくらでも変えていける**」と全校生徒にメッセージを送りました。



## ★新温泉町立浜坂中学校

共生社会への理解を深める一環として第3学年を対象に毎年同校で行われている「福祉体験学習」。

7月29日(水)に、鳥取県車いすバスケットボール協会理事長 福永幸男さんによる「共生社会の実現に向けて」と題した講演と、車いすバスケットボール体験が行われました。

講演では、事故による両足切断、スポーツと出会ってからの心境の変化や自分の成長、**障害者が暮らしやすい社会にするにはどうすればいいのかを考える「心のユニバーサルデザイン」**についてお話しいただきました。

車いすバスケットボール体験では、代表生徒のドリブルやシュート、ターンなどの基本練習に加え、生徒同士5対5のゲームや生徒5人対福永さんのゲームなどが行われました。

慣れない車いすの操作に苦戦しながらも、障害の有無に関わらず一緒にスポーツを楽しむ姿は、スポーツの価値やスポーツが持つ力を感じさせるものとなりました。



今後、その他推進校の取組も随時更新していきます！！